

# LW受容協力医師制度の展望

## ルポ——がん診療の拠点・都立駒込病院で緩和ケアを担う田中桂子医師の思いと活動

「痛みの辛さを緩和できる専門医になりたい」と、遠回りして選んだ、この道。「早期からの緩和ケア」を併用してがん治療にあたることで、生活の質改善に取り組む。

都立駒込病院の11階にある緩和ケア病棟の庭園ベランダからは、東京スカイツリーと東京タワー、遠くに富士山も望める。プランターの小さな花々が、青空のもと、さわさわとそよいでいた。

緩和ケア科部長・センター長の田中桂子医師（62）に案内され、緩和ケア病棟を回った。「床がじゅうたんでは？ できるだけ家にいるような感じで過ごしていたら……」。ソファの傍にはピアノが置かれ、お茶を出すカウンターや書棚も並んでいる。行き交う看護師さんも白衣ばかりではない。赤や青の柄もので「普段感」

をかもし出す。壁一面に、まさに壁画のように、大きな絵が掲げられていた。

「この絵は、女子美大の学生さんにイメージを言って、描いてもらったんです。『この病棟に入る人たちは、がんの積極的な治療ですでに卒業された方々なんですよ』と伝えて。熱心に私たちの話を聞いて、こんなに立派に描いてくれたの。私も大学まで行って、描いているところを見学させてもらいました。指導していただいた教授も学生さんも、これを描いたこと、誇りに思ってくれているようです」



女子美大の学生が描いた力作を指し示す田中桂子医師

「こもれば」「ひだまり」「これから歩む道」と題された3点の大きな絵が、部屋の空気をやさしく包んでいた。

### OLを10年ほど経験し、「医師への道」が芽生える

院は、総合病院の利点を生かし、各科を横断したチーム医療体制を作り、治療の相談だけでなく、心の問題、就労への不安、治療費などお金の心配事などにも対応する「患者サポートセンター」という新しい窓口を設け、生活全般の支援に力を注いでいる。

そんな駒込病院に田中桂子医師がきたのは11年前。「その前は静岡がんセンターの緩和ケア科にいたんです。駒込に緩和ケアの専門病棟を立ち上げるといっ構想が持ち上がった。ここに来るようになりました」。

医師への道は「遠回りだった」という。慶応の文学部独文科を卒業後、外資系の会社でOLを10年ほど。その間、ドイツに何度も行き、車いすの人が普通に生活し、社会がヘルプする体制を目にし

た。周りの親しい友だちを亡くしたりもする、そんな経験の中で「医師への道」が芽生え、具体化していった。医学部を卒業後、柏の国立がんセンター東病院で、がん（肺がん）と緩和ケア、サイコoncology（精神腫瘍学。がんと精神との関係の学問）の3つを学んだ。当時、肺がんは、今よりもずっと予後が厳しい状況で、痛みに苦しんでいる患者をいっばい診てきた。そんな中で「痛みの辛さを緩和できる専門医になりたい」と強く思うようになったのだという。

### 「早期の緩和ケア」併用で生存期間延長のデータも

「緩和ケアは、がんの終末期に受けるもの」と誤解している方も多いように思いますが……と聞くと、「それは違います」と田中医師。

「がんの治療中から緩和ケアを必要とされる方も多くいます。例えば治療に伴う嘔吐やだるさ、痛みなどを緩和してあげると、がん治療に取り組み意欲も湧いてきますし、また、仕事やお金の不安が解消されれば、安心して納得した治

駒込病院の正式な名称は「がん・感染症センター都立駒込病院」。都道府県がん診療連携拠点病院でもある。拠点病院は都内には、がん研有明病院とここだけ。有明にも緩和ケア病棟がある。

5年前、駒込病院は新しい理念を掲げた。「医療を通して人がその人らしく生き抜くことを支援する」というもの。自分が生きていく姿を「そのままがいいんだ」と思えるように医療支援していくこと、だという。がん患者とその家族は、さながら「重たい荷物を抱えた状態」にあるようなもの。そうした患者・家族に対して駒込病

療を選択することができるようにもなります」

こうした「早期からの緩和ケア」を併用してがん治療にあたることで、生活の質が改善するだけでなく「生存期間が2・7か月延長した」というデータもあるんです」と、田中医師は言った。

※ ※  
自分のがんの状態を十分に理解し、積極的な治療を行うことが困難な患者さんたちが静かに入院生活を送る緩和ケア病棟。駒込病院には22床あり、平均在院日数は30日前後。年間200人以上の方がここで亡くなるという。ご家族や、田中医師たち専門の緩和ケアスタッフに見守られて。

会報編集部 郡司武

### LW受容協力医師とは

当協会のLWの趣旨に賛同し、氏名を公表して会員の力になりたいと表明された医師。現在2000人近くが登録。登録医師には協会が「認定証」を発行。最新リストは支部HPから閲覧することができます。



(右)11階にある庭園ベランダには四季の花が咲き競い、眺望が素晴らしい(上)女子美大生の心が込められた大きな壁画に囲まれた静かな憩いのルーム